


令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

市町村名(日置市)

事業名	史跡巡り歩こう会	実施時期	(令和8年3月11日～4月10日)
趣旨又は目的	地域内の文化財や史跡をめぐり、その由来を学ぶとともに、地域の人や文化、自然に直接触れる体験を通して、郷土への認識を深め、郷土を愛する心や文化財を大切にしようとする態度を育てる。		
参加者	伊集院地域の子ども会員及び育成会員その他希望する一般成人等		
活動概要	<p>伊集院地域を歩きながら史跡をめぐり、現地でボランティア「歴史を語る会」会員の方や事前に研修を行ったコンシェルジュニア（中学生）による史跡等に関する説明を聞きながら歴史や史跡を学ぶ活動である。令和7年度は、2月21日（土）、伊集院北校区の史跡巡りを実施した。参加者多数（総数49名参加）により、2班に分かれ歩いた。</p> <p>歩こう会順路（主な見学地等）</p> <p>伊集院北小学校集合・発 ～ 山ノ脇・石坂・西原遺跡 ～ 平等寺跡 ～ 天神社 ～ 薬師如来像 ～ 今寺跡 ～ 伊集院北小学校着・解散</p>		
活動写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>歴史を語る会の方のお話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>コンシェルジュニアによる説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>移動時も立ち止まってお話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>史跡までの道のりを歩いて移動</p> </div> </div> <p>[説明]</p>		

令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

地域名(十島村 平島)

事業名	島内放送を活用した「タイラジオ」放送	実施時期	令和8年3月6日(金) (令和8年3月11日～4月10日)
趣旨又は目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒が企画し実施し、校内の児童生徒、教職員、地域住民からの称賛や激励の反応を通して、自身の自己肯定感を育む。 2 子どもの声を届けることで、高齢化の進む島の活性化を図る。 		
参加者	児童生徒13名 職員12名		
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の最近の出来事や自分の考えを放課後に、島内放送で発表する。 2 月に1～2回程度。ローテーションを組み、MC役(進行役)とゲスト(発表者)に分かれて、放送する。 3 その場に居た教職員も一緒に聞き、放送終了後に拍手で称賛する。 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>MC役の生徒 放送の最初と最後に発表者の紹介や、次回の予告などを伝える。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゲスト(発表者)の生徒 この日の放送は、1週間後に島立ちをする9年の生徒。 これまでお世話になった地域住民への感謝の気持ちを伝えた。 終了後は、その場にいた全職員が拍手で称賛した。</p> </div> </div>		

令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

市町村名(十島村 悪石島)

事業名	見送り式(卒業生, 教職員)	実施時期	令和8年3月22日, 27日 (令和8年3月11日～4月10日)
趣旨又は目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいステージへ進む卒業生を、拍手や歓声で華やかにお祝いする。 ・ 共に過ごした在校生や教職員が、相互に感謝の気持ちを伝え合う場とする。 		
参加者	卒業生1人、転退職する教職員6人、児童生徒12人、教職員7人、地域の方々約30人		
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉 2 転出者の紹介 3 転出者挨拶 4 卒業生(転退職する教職員)へ贈る言葉 5 PTA会長あいさつ 6 記念品贈呈—児童生徒・教職員による手作りの色紙 7 エール 8 校歌斉唱 9 悪石ソーラン 10 おわりの言葉 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>卒業生見送り式</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>転退職する教職員見送り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>遠ざかるフェリーに手を振る様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ソーラン節を踊る様子</p> </div> </div>		


令和 8 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名 (十島村 口之島)

事業名	卒業生・転出児童生徒・転出職員港見送り式	実施時期	3月12日(火)・26日(水)
趣旨又は目的	島立ちをする後期課程9年生と転出する児童生徒・教職員に、激励と感謝の気持ちを伝える。		
参加者 (人数)	学校職員、児童・生徒・園児、保護者、里親、寮監、地域住民		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育館で毎週月曜日にエイサーの演舞の練習を行った。 児童生徒が分担して、見送り用の横断幕等の作成を行った。 見送り式は、児童生徒から卒業生と転出する児童生徒・職員への感謝のことばや記念品贈呈等を行った。 フェリーの出航に合わせて、卒業生と転出する児童生徒・職員へエールを送るとともに、エイサーの演舞で見送った。 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>卒業生・転出児童生徒へ記念品贈呈</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>見送りエイサー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>乗船前の花道</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>見送り式では、島立する卒業生と転出する職員へ、児童生徒から一人ずつお礼の言葉を述べた。多くの島民の方々も見送りに来られた。島民の方々も別れを惜しみながら、それぞれに激励の言葉をかけていた。最後に、児童生徒によるエイサーの演舞で出港する船を見送った。船が離れる灯台まで走って、手を振る児童生徒、島民の姿がとても印象的であった。</p> </div>		

令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

市町村名(鹿児島市)

<p>事業名</p>	<p>鹿児島市 春の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動</p>	<p>実施時期</p>	<p>(令和8年3月11日～4月10日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>本市では、これらの運動と連動して、「春の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動強調期間」を定め、青少年健全育成の諸事業を意図的に実施し、市民一人一人が、青少年の健全育成について理解を深め、心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成する。</p>		
<p>参加者</p>	<p>全市民</p>		
<p>活動概要</p>	<p>学校や家庭、地域で青少年健全育成の取組を推進する。 (1) 実施機関・団体では、運動の趣旨や実践活動の方法等について、関係者への周知・徹底を図る。 (2) 地域では、青少年健全育成指導者等が中心となり実態を把握し、「あいさつ運動」を中心とした地域活動の推進を図る。また、「青少年育成の日」には、地域の特色を生かした活動が一層盛り上がるように工夫する。 (3) 家庭では、「あいさつ運動」に積極的に取り組み、「家庭の日」には、家族そろって食事をしたり、スポーツに親しんだりするなど、家庭の団らんや親子の触れ合いを深める活動をする。 (4) 学校では、「かごしまの教育」県民週間等の趣旨を学校職員や保護者・地域社会の方々へ周知し、関係機関・団体との連携のもと、更なる生徒指導の充実を図る。 (5) 各関係機関・団体は、相互の連携を密にするとともに、各種の広報媒体を活用し、青少年育成活動の普及・啓発に努めるとともに、環境浄化、非行防止等の実践活動を積極的に推進する。 (6) 家庭、学校、職場、地域が一体になった取組の推進を図る。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<p>【学校名】 鹿児島市立甲東中学校 【事業名】 松原社会福祉協議会との交流会 【実施時期】 3月4日(水) 【趣旨・目的】 高齢者との交流を通して地域とのつながりや思いやりの心を育む。 【参加者(人数)】 地域の高齢者20人、社会福祉協議会10人、中学3年生35人、教職員5人 合計70人 【活動概要】 地域の高齢者や社会福祉協議会の方々と、レクレーション(ファミリーバドミントン、フロアーカーリング)及び昼食会を行い、交流を深めた。</p>  <p>[地域の高齢者や社会福祉協議会の方々と中学3年生の交流の様子]</p>		

令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

市町村名(三島村)

事業名	港クリーン活動	実施時期	令和8年3月7日
趣旨又は目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園会（児童生徒会）活動での美化活動を進め、きれいな地域づくりを行う。 ・ 釣り遠足で使用した場所を使用する前よりもきれいにする。 ・ ゴミの分別について学習する。 		
参加者	20名		
活動概要	<p>日程 10:15～10:20 港へ移動 10:20～10:25 作業説明 ※ ゴミを「燃えるゴミ」・「燃えないゴミ」・「ペットボトル・空き缶」の3種類に分別する。ゴミ袋は、後期生が持つ。 10:25～11:10 クリーン活動（作業場所は竹島港） 11:10～11:15 港から学校へ移動</p>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>港に集合後、ゴミの集め方を確認</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ゴミ拾い①</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ゴミ拾い②</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ゴミ拾い③</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ゴミ拾い④</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>たくさんのゴミを拾い集めました</p> </div> </div>		

令和8年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」実施期間における特色ある取組

市町村名(三島村)

事業名	島立ち ジャンベ演奏による歓送迎セレモニー	実施時期	令和8年3月12日～4月8日
趣旨又は目的	<ul style="list-style-type: none"> ・硫黄島を離れる児童生徒及び教職員、ならびに硫黄島へ転入する児童生徒・教職員・地域住民に向けて、ジャンベ演奏による歓送迎セレモニーを行う。 ・これまでお世話になった仲間や教職員に対して感謝の気持ちを持ち、その労をねぎらい、激励して送り出す機会とする。また、転入してきた児童生徒・教職員・地域住民に対しては、温かく迎える心を育むとともに、相互の交流を深める場とする。 		
参加者	児童生徒（25名）、保護者（12名）、教職員（16名）、地域住民（20名）		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・送別セレモニー 3月12日（木）、3月27日（金） ・歓迎セレモニー 4月3日（金）、4月8日（水） 【セレモニーの流れ】 ・ジャンベ演奏による歓迎 ・送別・歓迎のあいさつ ・転出者、転入者あいさつ ・記念撮影 ・ジャンベ演奏による見送り 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【ジャンベ演奏による歓送迎】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【紙テープによる見送り】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【送別セレモニー】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【歓迎セレモニー記念撮影】</p> </div> </div>		

令和 8 年 春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名 (いちき串木野市)

<p>事業名</p>	<p>いちき串木野市ジュニア・リーダークラブ 「チェリーブLOSSAM」送別研修会</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和 8 年 3 月 26 日 (木) ～27 日 (金)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の役割や目的について認識を深め、異年齢の友達と様々な体験活動を通して、子ども会や地域のリーダーとしての資質を養う。 仲間との親睦を深めながら、卒業する先輩を感謝の意を込めて送り出す。 		
<p>参加者 (人数)</p>	<p>小学生 10 人 中学生 5 人 高校生 4 人 大学生 1 人 引率 4 人 計 24 人</p> <p>研修場所：出水市立青年の家</p>		
<p>活動概要</p>	<p>活動①「5分間KYT, アイスブレイキング」 活動②「かるた作り」 活動③「天体観測」 活動④「レクリエーション運動会」</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<p>今年度、ジュニア・リーダーを卒業する高校3年生を送り出す研修となった。後輩への気配り・思いやりにあふれ、声をかけたり励ましてくれる姿は、後輩の模範となっていた。後輩たちが、研修会を通してこれまでの功績に感謝しながら、送別の活動を楽しんだ。</p> 		